

冬の大地震に対する備え

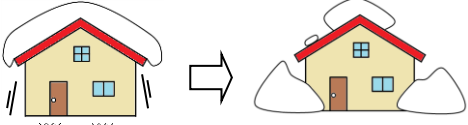
青森もいよいよ本格的な冬の時期となりました。雪や寒さなどが厳しく、暖房を活用する冬、そして感染症が流行しやすい冬は、災害への備えも変わってきます。特に気象庁が「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用を始めるときいて、青森でも大きな地震が発生する可能性があるのだ、と心配になった方もおられるかもしれません。地震はいつ、どこで発生するかわかりません。そして**冬の地震は特に危険**といわれています。そこで今回は冬に大地震が発生した時に備えてどのような対応をとればよいか説明します。

※本稿は2022年11月青森県月間地震概況内の「防災メモ」を抜粋・改変したものです。

雪の対策

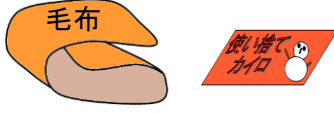
積雪があると避難に時間がかかります。事前に避難経路を確認し、積雪時に障害物となるものがないか確認しましょう。なお、津波からの避難は徒歩が原則です。渋滞に巻き込まれる懸念があります。また、屋根に積雪があると地震による家屋倒壊の危険性が高まります。普段から屋根の雪下ろしをしておきましょう。



チェック項目	地震時のリスク	やってきたい防災対策
避難経路	道路に積雪があると避難に時間がかかる。	雪が積もっているときに避難経路を実際に歩いてみて、避難経路と避難場所を改めて確認する。
屋根の積雪	屋根からの落雪。 地震の揺れと雪の重さによる家屋の倒壊。	屋根の雪下ろしをしておく。 
避難口の確保	家が雪で覆われていると避難に時間がかかる	玄関だけでなく、窓の周りもこまめに除雪をしておく。
斜面の積雪	なだれの発生。 なだれにより道路が通行できなくなる。	なだれ発生の兆候が見られたら、速やかにその場から離れる。 冬の避難ルートを確認しておく。

※ 寒さの対策

冬に屋外や寒い屋内に避難する場合には低体温症に注意が必要です。**防寒グッズ**をまとめておき、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。特に津波から避難した場合には、だんだんと寒くなってきても取りに戻れません。防寒着や雨合羽、濡れた場合に備えて着替えなども忘れずに入れておきましょう。

チェック項目	地震時のリスク	やってきたい防災対策
避難時の持ち出し品	地震によりライフラインが断となり、電気、ガスが使用できなくなる。	下のような防寒グッズを用意しておく。 <ul style="list-style-type: none"> ・防寒着 ・手袋 ・帽子 ・毛布 ・保温性の優れた下着  このほか、ポータブルストーブや使い捨てカイロなど、電気がなくても使える暖房器具を準備しておく安心。

🔥 火災対策

冬は暖房器具の利用が欠かせないですが、地震発生時には火災の原因となる恐れがあります。火災が起きないようにする、火災が起きてもすぐ消火できるようにすることが大切です。

チェック項目	地震時のリスク	やってきたい防災対策
火災の予防	暖房器具の転倒や倒れた家具などへの引火。家庭用灯油タンクの転倒。	消火器の設置、使用方法を確認する。 暖房器具の周辺は整理整頓し、燃えるものを置かない。 灯油タンクをしっかり固定する。
地震発生時の対応	停電が復旧した際の電気ヒータなどからの出火。	身の安全を守ることが基本。暖房、調理器具は地震の揺れがおさまってから状況を確認する。 避難する時は、ブレーカを落とし、ガスの元栓を閉める。

+ 感染症対策

冬は風邪やインフルエンザなどが流行する時期です。また避難所など人が密集するような場所では新型コロナウイルスの感染が心配されますが、災害時には、**危険な場所にいる人は避難をすることが原則です**。避難の際には感染症対策に万全を期すことが感染防止や**避難者同士のトラブル**を防ぐためにも重要です。

チェック項目	地震時のリスク	やってきたい防災対策
避難時の持ち出し品	感染症のまん延により避難所の生活環境が悪化する恐れがある。	マスク、体温計、手指の消毒液などの感染症対策用品を準備し、すぐ持ち出せるようにしておく。 衛生管理のため、上履き（スリッパ、靴下など）、ゴミ袋、石鹸、ウェットティッシュも持参する。
避難所での行動	感染症まん延のほか、他の人との距離やスペースなどでトラブルが発生する恐れがある。	3つの「密」を避ける。隣の人とは2m以上離れる。パーティション(段ボールなどの仕切り板)を活用する。



(新型コロナウイルス感染症対策推進室 HPより)

もちろん、冬に限らず普段からの備えと訓練が大切です。日頃から家具などの固定、家族が連絡をとるための方法や連絡先、避難場所と避難ルートを確認をしておきましょう。そして大きな揺れを感じた時、その状況に応じた対応がとれるように訓練をしておきましょう。防災の知識や避難所での感染症対策については、青森県防災ハンドブック「あおりおまもり手帳」に詳しく掲載されていますので、ぜひとも一度ご確認ください。



「あおりおまもり手帳」Web ページ

https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kikikanri/bosaikikikanri/bosai_handbook.html